



議会だより

住民のみならず議会をつなぐ広報誌



第54回
町民駅伝大会の様子

INDEX

福井県おい町議会を視察	P. 2
委員会からの報告	P. 3～6
12議員一般質問に立つ	P. 7～19
議員のうごき	P. 22

12月議会
12月1日から25日に
開催された定例会および
11月13日に開催された
臨時会の結果を
お知らせします。

日野菜のPRキャラクター
あなのひのな

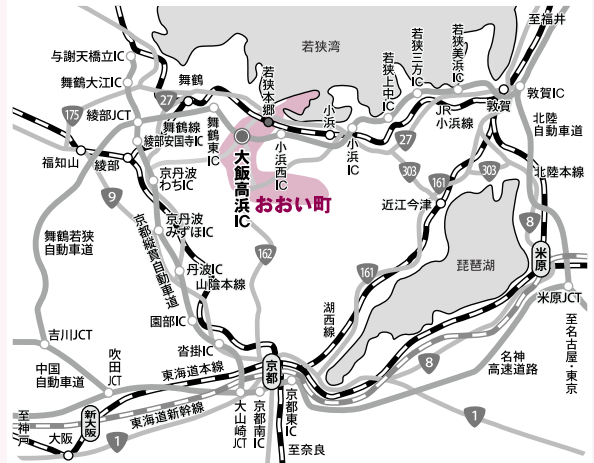


福井県おおい町議会へ 先進地行政視察



秋も深まった11月14日（火）日野町議会・議会改革特別委員会で議会改革に先進的な取り組みをされている福井県おおい町へ議員全員で行政視察に行きました。

研修に伺ったおおい町は福井県南西部に位置し、若狭湾に面しながら山林が町の面積の90%を占める豊かな自然に囲まれた町です。町の南部は滋賀県高島市にも接しています。一方で、原子力発電設備が立地しており関西エリアの電力供給基地としてご存じの方も多いかと思われま



会議に先立ち挨拶する杉浦議長

日野町議会・議会改革特別委員会では昨年春の選挙において欠員1名が生じたことから、通年議会の開催（県議会や大津市議会で実施）・町民の声を議会や行政に届ける仕組み・議員待遇の改善など諸課題の解決に向けて精力的に取り組んでいます。

今回、行政情報誌よりこれらの課題を克服されたおおい町議会の紹介記事が目にとまり、先方へ行政視察をお願いし実現の運びとなりました。

研修は事前に日野町議会の各議員から質問事項をおおい町議会事務局へお届けし、当日おおい町の細川議長をはじめとする3名の議員と議会事務局の職員の方よりその回答をいただきながら、さらに意見交換を重ね掘り下げた議論を行いました。

おおい町議会の議会改革は令和元年に議会のICT化（タブレット端末導入）から始まったそうです。コロナ禍での活動が制限される中でもオンライン会議を積極的に取り入れられ、その結果いくつもの成果に結びついたとのことでした。



実施内容を説明されるおおい町細川議長



熱心に聞き入る各議員

日野町議員から質問したこと（抜粋）

- ・通年議会のメリットやデメリット
- ・なり手不足の解消への課題
- ・議会報告会の実施方法や規模、参加者層
- ・報酬改定と定数見直しは一緒に検討されたのか
- ・報酬改定の算定方法

議会改革特別委員会

調査研究実践改善による「前進する議会」へ

●議会内にPT(プロジェクトチーム)を発足!!

PT名	目的	取組事例	メンバー (◎はPTリーダー)
ICT	より効率的な議会	タブレット端末導入など	◎後藤 中西 柚木
通年議会	緊急時でも迅速に対応できる議会	会期や定例会を通年にする条例整備など	◎山本 加藤 高橋
待遇改善	議員活動と暮らしを両立できる議会	議員報酬の見直し、委員長手当、活動経費など	◎川東 西澤 松田
広報広聴	住民の意見を収集し政策へ反映	意見の反映、議会PR、出前議会、主権者教育、アンケート、モニターなど	◎野矢 谷口 福永
オブザーバー	事例収集・法令確認など		議長 議会事務局

※議会改革の課題ごとに調査研究から実践改善をPTがメインで担当します

※行政の執行案と連動した委員会とは別個の活動です

※PTによる推進は福井県おおい町を参考にさせていただき取り組めます (2ページ掲載)

空家対策特別委員会

特定空家未指定の危険物件への災害対応に条例制定で対応を

借地上にある空家についての空家法に基づく勧告の実効性、所有者不明土地法の施行により除却後の土地の利活用が進むのか、管理不全の空家に対しての対応などについて、執行側の説明を受けながら委員間で意見交換をおこないました。

管理不全の空家に対して緊急安全措置条例(仮)を制定しての対処は可能か

台風や災害時において、管理不全の建築物などが近隣住宅や施設、道路などに対して倒壊や損壊による被害を及ぼす可能性がある場合であっても、現行法のいわゆる緊急安全措置は空家法には盛り込まれていません。そのため、他自治体では条例に同措置を規定することで台風接近等の際、危険な建築物に対して応急措置を講ずることにより、被害を未然に防いだ事例等もあります。そこで、当町においても同様の条例を制定することに対して協議を行い、委員からは賛同の意思が示されました。

今後も同条例の早期制定について引き続き協議を行う予定です。



予算特別委員会

人事異動等による人件費および物価高騰対策に重点

付託議案

●議第98号 令和5年度日野町一般会計補正予算(第4号)

国の人事院勧告や人事異動等による人件費の補正、および教育施設等の修繕や社会保障経費などにかかる補正。

●議第104号 令和5年度日野町一般会計補正予算(第5号)

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した、エネルギー・食料品価格等の物価高騰による低所得世帯の経済的負担を軽減するための支援としての補正。

《2つの補正にかかる歳出の主な内容》

事業名	経費の内容	補正予算額
戸籍住民基本台帳事務事業	戸籍の附票や住民票の個人氏名の振り仮名表記のシステム改修	697万円
障害者総合支援事業	障害福祉サービス報酬改定に伴うシステム改修、ほか	1,208万9千円
町単独福祉医療費助成事業	利用見込み増に伴う、福祉医療費の増加に対応	546万2千円
価格高騰重点支援事業	物価高騰による住民税非課税世帯へ7万円(1世帯)の給付金	1億2,281万6千円

質疑と討論・採決

委員からは、東近江行政組合への負担金の問題と生徒が使うタブレットの修理の問題が出されました。別の委員からは、公立保育所・こども園・幼稚園のオムツ回収ゴミ庫の現状について、また、旧鎌掛小学校の修理についてや基幹統計調査事業での指導員と調査員の報償費に関する事、さらに障害者総合支援事業における増額の必要性などについても質問が行われました。

結果、2つの議案に対して一括採決することについて異議はなく、討論と質疑もなく、一括採決を行ったところ、全員が原案どおり可決すべきものと決しました。



総務常任委員会

特別職の職員の給与等の改正について討論協議となる

付託議案

●議第94号 特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論…特別職の給与は職務の特殊性に応じたものであり、一般職の給与と考え方が違う。町民の信任を得た選挙時点での報酬を維持すべきである。

賛成討論…日野町の条例であり、議員の待遇が少しでも良くなり、若い方でも安心して立候補できる開かれた議会にしていかなければならない。

●議第95号 日野町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

●議第102号 日野町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

付託議案の採決

●議第94号 賛成多数で可決すべきものと決しました。

●議第95号 ●議第102号 全委員一致で可決すべきものと決しました。



請願審査と採決

●請願第2号 国に対し、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求める請願書

去る11月7日に閉会中の審査を行い、再審規定の改正に対し理解を深めることができました。採決した結果、反対討論はなく、全委員一致で採択すべきものと決しました。

調査・研究

●学校教育の現状と不登校について意見交換を行い、議論を深めました。

厚生常任委員会

高校生等(18歳)まで医療費の自己負担がゼロに！！

付託議案

- 議第97号 日野町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について
滋賀県の医療費補助決定を機会に日野町独自の助成制度を追加整備しました。日野町では高校生等(18歳)までの子どもの入院・通院ともに、医療費自己負担がゼロになります。
- 議第96号 日野町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について 他4件

付託議案の採決

- 議第97号 全委員一致で可決すべきものと決しました。
- 議第96号 日野町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について 他4件 全委員一致で可決すべきものと決しました。



調査・研究

- 11月17日に超高齢社会体験ゲーム「コミュニティコーピング」を体験
ボードゲームを通じて、課題を抱える人へ社会的処方(人や活動をつなぐことによって改善をうながす)をおこなうことを疑似体験しました。地域共生にはコミュニティのつながりが重要で、住民相互のおせっかい活動の大切さを再認識しました。
- 「幸福度とまちづくり」の関係について調査・研究を開始しました
住民との意見交換会テーマを話し合ううちに「心豊かに暮らしていくには、幸福度とまちづくりの関係を調査していくことが重要で、また行政課題の解決にもつながるのでは」という考えに至りました。1月18日にはワークショップで調査研究を行いました。



産業建設常任委員会

町の農業・・・何が問題で、解決には何が必要かの分析を

調査・研究

- 日野町の農業をどうしていくのか

提出された資料 今年の作況と課題/後継者不足と耕作放棄地をめぐる問題/日野町における有機農業の現状と課題/地域計画の推進について/農村RMO(桜谷)について

今年の作況は「やや不良」だが、米は足りており、作況指数が上がると価格が値崩れする。ミニマムアクセス米(協定により最低輸入量を義務づけられた米)など町レベルでの解決は難しい。そこで、転作ということだが、土壌や獣害の問題などとともに、農水省が転作をしても5年に1回は水を張って水稻を作らないと交付金が出ない問題。転作をしても需要が安定しないなど問題は多い。

後継者不足の問題は地域の古い考えや慣習とのかかわりが大きいこと、耕作放棄地の中にある農振地の問題なども出された。有機農業では、慣行栽培圃場との調整、価格差と管理費の問題、町内実践者の現況、有機JAS認証の必要性の有無などが出された。

今、地域のそれぞれの集落は疲弊している。「人・農地プラン」から「地域計画」への変遷を見てもRMOも農村を旧村など広い範囲で、しかも景観・文化を含め総合的にとらえる観点から出ている。

町行政に期待することは、今何が問題で、その解決には何が必要かという分析をし、伴走していくことが役割だと思う。委員会では国策としての食料自給率、安全保障の観点など細かい分析が必要との意見が出された。

決算特別委員会

決算から見える施策の課題や改善策を慎重に審査

令和4年度一般会計および6特別会計、2企業会計の決算審査が9月議会の閉会中の審査として10月26日、30日、31日の3日間にわたり行いました。

決算審査は議長、監査委員の川東議員を除く11名の議員により審査しました。

各事項別に質疑し、決算から見える施策の課題や今後に向けた改善策など慎重に審査を行いました。

令和4年度日野町一般会計決算の概要

歳入総額

107億1,967万5,151円

(うち、町税収入は37億8,411万2,676円)

予算現額を約2億3,831万円下回り、収入率は97.8%でした。

対前年度比で収入率は1.3%減少し、決算額は約3億7,148万円の減でした。

歳出総額

97億9,403万5,391円

予算現額と比べ約11億6,395万円(翌年度繰越額を引くと約4億5,576万円)の不用額を生じ、執行率は89.4%でした。

対前年度比で執行率は3.0%減少し、決算額は約5億4,193万円の減でした。

歳入歳出差引額

9億2,563万9,760円

審査内容から見たポイント

●歳入

全体に占める町税の割合は35.3%で前年度と比較して1.7%の増でした。新型コロナウイルス感染症の影響等による景気低迷からの持ち直しがみられ、特に固定資産税では、町内企業の工場等新增築、設備更新等に伴う機械装置の設備投資による償却資産の伸びにより前年度対比3.7%の増加、町たばこ税も前年度対比10.2%の増加になりました。

●歳出

歳出全体については、前年度対比5.2%の減であり民生費が歳出の1/3を上回りました。

最大の支出費目は民生費のうち社会保障経費が大きなウエイトを占めました。

●質疑と討論・採決

今回の決算特別委員会では、わたむき自動車プロジェクト推進事業に対する質疑が多くされ、ふるさと応援寄附事業についても多くの質疑がありました。教育費においては通学バスの件、学力向上への問題点等に多くの時間をかけて審査しました。

令和4年度一般会計および6件の特別会計、2件の企業会計の決算の認定が全会一致で認定すべきものとして決しました。

●現地視察

最終日の午後から現地視察を行い、公共下水道管渠築造工事(蓮花寺南幹線(第2工区、第4工区))ならびに日野町大谷公園野球場改修工事の2箇所を視察し、それぞれについて担当課より説明を受け予算執行の成果を確認しました。



令和5年12月 町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名	質問内容	ページ
1 たにくちともや 谷口 智哉	1 日野町役場の働き方改革に関して ② 今年のふるさと納税の現状は？ ③ 移住促進はなぜ必要なのか？	P. 8
2 ふくながあきひと 福永 晃仁	1 人と文化をつなぐ次代の観光ビジョン 2 すぐそこに迫る「労働供給制約社会」	P. 9
3 かわひがしあきお 川東 昭男	1 日野町における不登校の現状と支援・対策について 2 「チョイソコひの」および「町営バス南比線・中山線」について	P.10
4 たかはしげんざぶろう 高橋 源三郎	1 道路舗装工事には雑草が繁茂しない施工の研究を！ 2 最高裁による「性同一性障害特例法」の違憲判決について町の見解を問う	P.11
5 にしざわまさはる 西澤 正治	1 農業問題地域計画の推進について	P.19
6 やまもとひでき 山本 秀喜	① デジタルが活かされた「わたむき自動車プロジェクト」か？ 2 「わたむき自動車プロジェクト」通勤バス実証実験について ③ 町の義務的経費は高止まり、令和6年度の財政方針を伺う	P.12
7 まつだようこ 松田 洋子	① 不登校の子どもの学び・居場所への公的支援について ② 国民健康保険の都道府県化について 3 給食費の無償化について	P.13
8 ゆのききくお 柚木 記久雄	① 「チョイソコひの」の実証実験から今後は問う 2 日野町職員への働き方改革の取り組みは ③ 日野町地域防災計画の現状と今後の推進策は	P.14
9 なかにしけいこ 中西 佳子	1 带状疱疹ワクチン接種助成を 2 「COCOLOプラン」を受けての不登校支援の推進を	P.15
10 かとうかずゆき 加藤 和幸	① 移動権の保障と環境保護が公共交通の役割 ② 日野町における会計年度任用職員の実態について 3 水道料金の引き下げについて	P.16
11 のやたかゆき 野矢 貢之	1 化学物質過敏症の方への配慮 2 社会教育の人材育成と体制整備	P.17
12 ごとうゆうき 後藤 勇樹	1 こども基本法でどう変わる？町のこども施策 2 文化財保護への取組とエコミュージアム構想の今後は？	P.18

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。本会議の様様をインターネットで配信しています。

(ライブ中継・録画中継)

新たに 令和5年12月定例会から一般質問において議員が使用した資料をインターネットでご覧いただけるようになりました。



上の二次元コードを読み取ると
一般質問の録画が視聴できます。





問 今年のふるさと納税の現状は？

答 昨年よりも着実に増えており目標の6,000万円に達する見込み



谷口 智哉 議員

問

①ふるさと納税の今年の目標金額は設定していますか。

②目標に向けて取り組んだ施策はありますか。

③目標金額は達成しそうですでしょうか。

④担当は商工観光課ですが、現状の人数で色々な仕事を抱えながらふるさと納税の営業活動をするという事には限界があると思うのですが、営業部門に関して役場とは別の組織を作るとは考えていませんか。

⑤ふるさと納税の寄附金を活用して人材を登用し、営業力の強化につなげることは出来ませんか。

答

①6,000万円を見込んでいます。

②ポータルサイトの追加、収穫体験などの新たな分野での返礼品の追加、寄附者へのメールマガジンの配信、横浜駅構内でのキャンペーンの実施等に取り組みました。

③11月末時点での総寄附

額は約3,800万円で、昨年同月比2,900万円の増となっています。

件数自体も昨年より着実に増えていきますので概ね達成すると予測しています。

④専門の職員がいるわけではないので、営業力が弱い所ではありますが、現在の寄附額の規模では現状の組織形態で行くしかないと思います。今後増えていけば検討の余地があると思います。

⑤寄附の用途としては、財源が厳しい中でふるさと納税関係ばかりに使うというわけにはいきかないので、今後考えていきたいです。

◆伝えたいこと

年々規模が大きくなるふるさと納税は町を支える大切な財源です。日野町がより飛躍するため、そして職員の負担軽減の為に、先行投資をしてでも、営業部門は独立して専念できるとよいと提案しました。

問

移住促進はなぜ必要なのか？

答 持続可能な活力あるまちを創るため

問

①これからの時代、移住促進はなぜ必要なのでしょうか。

②人口減少が町の活力の低下につながっていると、思いますか。

③移住促進について過去に取り組んだ制度やイベントについて教えてください。また、今後行う予定のイベント等がありますか。

④そのようなイベントを民間が行う場合、後押しするような制度はありますか。

⑤移住政策に関しても役場とは別の組織を作るとは考えていませんか。

答

①先人が築いてきた、豊かな歴史や質の高い文化あふれる日野町の魅力を、町内外に伝え、町への関心から移住につながる、移り住まれた方とともに、持続可能な活力あるまちを創っていくことが必要であると考えています。

②人口減少自体が悪いのではなく人口増を前提に社会が作られ、現在はその前提が違ってきているだけのことで、人口が少ないから、少子高齢化が進んでいるからといって町の魅力や活力が低下するとは思っていません。

③空き家・空き地登録情報制度の運営、空き家見学ツアーの実施、移住相談や移住者交流会の実施、日野町の暮らしをイメージできるパンフレットの作成、情報サイトの開設等の取り組みを進めてき

◆伝えたいこと

移住促進に関してもふるさと納税同様、外部への情報発信等がメインとなるものなので、特化した日野町の営業部門や組織が必要で、それらの営業部門を現在の組織から切り分けることで役場の負担軽減と、外部に対する効果的な営業活動ができるようにしていく必要があると考えています。



人と文化をつなぐ次代の観光ビジョン

答 日野の歴史を活かした観光ビジョン策定を目指します



ふくなが あきひと
福永 晃仁 議員



問 日野町の10〜20年先を見据えた時に大きな課題となる文化承継と地域コミュニティ再生。若年層・子育て世代へのアプローチや文化財保存活用地域計画を含めて「文化・観光・教育」を連動させて考察・発信していくこと。自分が暮らすまちに関心を持ち生活を営んでいただけるような新たな角度からアプローチを試みる時期に来ています。独自に実施した観光についての住民アンケートの内容も踏まえて

①現在の住民意識と当町の観光に対する優位性と劣位性は。
②観光を担う諸団体や民間企業等との連携は。
③日野たらしめる次代の観光ビジョン策定は。

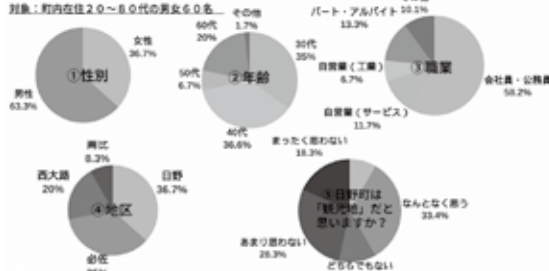
答

現状を踏まえて
① 寺社や町並み、祭りなどの歴史的な観光資源や近江日野田舎体験事業、大型集客施設であるブルーメの丘などは他

の町にはない優位性。一方で交通の便や宿泊施設の少なさ、滞在型の観光分野は町の課題と捉えています。

②町の観光周遊イベントや規模の大きなマルシェで民間事業者との連携。日野観光協会とは観光推進の両輪として定期的な意思の疎通を図りながら事業を進めています。
③近江日野商人の「三方よし」をはじめとした世界に誇れる考え方を土台に今後の観光ビジョンの策定を検討していきます。

日野町の「観光」って？アンケート概要



①日野町の「観光」について、率直に思うこと（自由記述まとめ）

- ポイント
 - ・プロメの会社や紅葉公園で行われたマルシェを定期的に開催してほしい。紅葉公園を有効活用してほしい。
 - ・近江商人の格好をして写真撮影ができたり、商品も数種、ボランティアガイドさんが近江商人の格好をして街並みを案内するのもユニークで、海外の方にも喜んでもらえる。高麗茶に宿泊して着る人の生活が体験できるみたいな施設。
 - ・他の団体が職員で無人参加型のイベント - マママルシェ（お乳やマッサージ、子どもに触れ合える時間を作れるマルシェ） おかしマルシェ（有名パティシエをゲストに開催したいお菓子やデザートマルシェ）
- 課題・商品
 - ・道の駅のみ、登山会館、日野歴史資料館、総合土産店、7地区に観光案内所、民謡の演、お茶やメーカーコラジの品、...
- 全体的
 - ・なとなく日野地区に響いているイメージ。他の地域でもアピールが必要。
 - ・観光一歩よりという観点から、観光客には、日野に興味しない層や観光客もあつちゅうして欲しいので、宿やホテルが少ないことや宿泊施設までの交通の便の悪さが解消できたらいいなと思います。
 - ・ドラマ撮影などにもっと受けてもらって喜んでもらいたい。知名度がある方々のコソコソ。
 - ・日野に泊る予定のある観光客のアクセスの改善。文化遺産を盛り込んで魅力を発信する等も、それぞれの場所を観光に導ける連携、取りやすさに繋がる。文化遺産を一緒にプロデュースする事業的かつ物の存在が必要。
 - ・日野駅とかクラブハウスの周辺など一部の方が活性化で頑張っているが、日野は観光事業、イベントなど全ての情報を把握できているのでしょうか？せっかくのイベントが同日にひびいたり、季節の様に民謡、演、文化祭、マルシェ...何人の方がしゅっちゅう外出をするのか？私はしんがった。ほとんどのが半端半端になっているように物足りないです。
 - ・行政がそれなりに心に動かなければいけないと思う。また民間でそこに合わせて動かなければ観光としては成り立たない。建物やイベントをつくるだけでなく今あるもの、場所を活かして、どう盛り上げていくかが必要だと思う。

問 すぐそこに迫る「労働供給制約社会」

答 新たな「やりがい」と「はたらく未来」を創出します

問 これからの「人手不足」少子高齢化の構造的要因が問題を加速させ、大きな社会問題として提起されていること以上に非常に強い危機感を持っています。住民福祉を担う行政運営の維持と変革。住民の方々の働き方の変化と「コミュニティ再生への糸口。日野町という2万人規模のまちがこれからどのような道を歩むべきかを考え

る上で、国内全体の状況も注視し続ける必要があると思います今回の内容に着目。リクルートワークス研究所の未来予測2040から見えてきた「はたらくことの未来像」と「労働供給制約社会の中で生活を維持するため必要な労働力を日本社会は供給できなくなるのではないか」という問題意識を前提として

答

①国内全体の人手不足や労働供給制約について、人口減少・高齢化・若年労働力の減少などの要因による労働力供給不足がすでに始まっており、当町でも多くの企業事業所において人材確保や育成に苦慮されているものと認識しています。

- ①人手不足、労働供給制約社会への当町の見解。
- ②ワーキッシュアクト（本業の労働・仕事以外で何らかの報酬を得るために誰かの何かを担う性質がある活動）の視点から考える住民活動と行政との連携は。
- ③行政内での「しごと」のやりがい「創出に向けての変革状況やこれからの取り組みは。

問 日野町における不登校の現状と支援・対策について

答 「ポジティブな行動支援で子どもの笑顔が輝く学校」めざす!



かわひがし あきお
川東 昭男 議員



問

不登校の子どもを支援するため、2016年12月に超党派による議員立法による「教育機会確保法」が成立しました。

国では、文科科学省が2023年3月に、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策「COLOプラン」を立て、小・中・高の不登校が約30万人に急増し、90日以上不登校でもあるにもかかわらず、学校内外の専門機関で相談・指導等を受けられていない小・中学生が4万6千人いることを発表されました。

県においては「しがの学びの保障プラン」の骨子(案)が発表され、10月に開催された県の首長会議でのフリースクールの議論が、新聞やテレビなどで大きく報道されました。

そこで、日野町の不登校の現状と支援・対策について伺います。

①「日野町における不登校の現状について」



小・中学校の不登校の人数や状況。日野町子育て・教育相談センターにおける相談件数や、不登校の相談から具体的な支援につなげ、解決に向けた例はあるのか。

②「日野町少年センターで実施している日野町サポートスクール「ステップ」について」

具体的に何人が利用し、どのような活動をされているのか。指導者は何人で各ケースの状況や関係者の連携など課題は何か。

③「フリースクールについて」

保護者への補助金制度は適切か。一般社団法人「日野里山フリースクール」について、町の評価と連携の考えは。

問

「チョイソコひの」および「町営バス南比線・中山線」の運行

答 「チョイソコひの」への転換など輸送課題を整理する

問

12月定例会開会日に「チョイソコひの(町営バス南比線及び中山線エリア)」を、令和6年10月より本格運行し、町営バス南比線及び中山線を廃止する考えを議員全員協議会に示されました。その中で、これまで実証実験で、町外の医療施設を対象にできた5つの医療機関の内、今後は、公立甲賀病院及び東近江市蒲生医療センターのみとし「行きだけの運行」とする考えを表明されました。

「チョイソコひの」への転換など輸送課題を整理する

の経営に影響を与えていることが分かった。

②バスの運転手不足など近江バスや町営バスを取り巻く状況が大きく変わっている。今後の公共交通としての町営バスの運行が困難な状況にあります。

今後の日野町の公共交通の方向を「チョイソコひの」を中心とするビジョンを示して、町民に説明するべきではないか。

答

①運行を続ける中で、町外病院への移動ニーズが多くある一方で、両市の交通事業者

のみならず、広く町民の皆さんにもご協力を頂き、「ポジティブな行動支援で子どもの笑顔が輝く学校づくり」をめざして、親も先生も子どもも笑顔輝くアプローチに取り組んでいきたい。

答

不登校の現状は、小学生が27人、中学生が31人。不登校の割合は小学生・中学生共に県や全国平均より高く、増加傾向となっている。自己肯定感の低さや対人スキル、感情調整の課題、学習の困り

など様々なことが要因となっている。今後は、子育て・教育相談センター、少年センター「ステップ」の取り組みをはじめ、フリースクールとの連携強化を図っていきたい。

また、この課題は、学校

問 道路舗装工事には雑草が繁茂しない施工の研究を!

答 全国的には新工法で整備される事例もある



たかはし げんざぶろう
高橋 源三郎 議員



問 新しい道路やバ
イパス等の建設時
には同時に歩道も建設さ
れます。この時、車道と歩
道の境界には必ず縁石ブ
ロックがあり、これは車
が走行中に歩道に突っ込
まないための区切りとし
ての役割があり、歩行者
も歩道を歩く時には縁石
ブロックがあることで安
心して歩ける訳です。



雑草が生い茂る県道の歩道

しかし道路に縁石ブ
ロックがあることで、別な
問題が発生しています。
それは縁石ブロックと歩
道側のアスファルトとの
間に雑草が生い茂ってい
ることです。これはほと
んどの道路において見ら
れることで、雑草の種類
やその背丈は様々です。

ところが、河川に架かる
橋の上には雑草は全く生
えていません。(写真左)



出雲大橋の歩道

この違いは一体何でし
ようか。これは縁石ブ
ロックとアスファルトとの
間にわずかな隙間があり、
そこに草の種が入って、
草の根がアスファルトの
下の土壌の部分まで伸び
ているからではないか。
そこで、その隙間をコ
ンクリートや接着剤など
で塞げば雑草は生えない
と考えます。これだけで
も「花のまち日野」として
の道路景観が、町民や来
町者に良い印象を与える
と思います。こうした雑
草対策について町の考え
を伺います。

答

道路が完成後、
定期的な路面清掃

問 最高裁による「性同一性障害特例法」の違憲判決 について町の見解を問う

答 この問題は多くの議論が尽くされる必要がある

問 令和5年10月25
日、最高裁判所は

「性同一性障害の人が、戸
籍上の性別を変更する際
に生殖能力を無くす手術
を必要とする性同一性障
害特例法の既定の合憲性
について、違憲であり無効
とする決定を下しまし
た。しかもこれは15人の
裁判官全員の一致した意
見による判決です。この
判決について実は驚くべ
きことに、今から4年前

には最高裁が「合憲」とし
た判決を自ら覆す判決で
あり、政府はこの規定の
見直しを迫られることに
なります。

この性同一性障害特例
法には次の5つの要件が
定められています。

- ① 18歳以上であること。
- ② 結婚していないこと。
- ③ 未成年の子がいないこと。
- ④ 生殖腺がないか又は生
殖機能を永続的に欠く状態
であること(生殖不能要件)。
- ⑤ 変更後の性別の性器に
似た外観を備えているこ
と(身体の外観要件)。

この5つの要件を全て
満たせば性別変更ができ
ると規定しています。

今回、最高裁が4年前
の判決を覆したのは④の
規定についてであり、こ
れは日本国憲法に定める

「意思に反して身体への
侵襲(ここでは生体にメ
スを入れることを指す)
を受けない。」と定めた
憲法第13条に反するた
め、違憲で無効との判決
が下されたのです。

答

この違憲判決について
国民的議論が不十分なま
ま社会倫理を覆すような
判決は、国民に混乱を引
き起こすだけであり、政
府自民党内でも「困った
判決だ」と懸念の声が上
がっています。

この件に関して
は様々な意見や考
えがあり、多くの議論が
尽くされ、理解と認識が
深まり、一人ひとりが大
切にされる社会になれば
いいと考えている。

この件に関して
は様々な意見や考
えがあり、多くの議論が
尽くされ、理解と認識が
深まり、一人ひとりが大
切にされる社会になれば
いいと考えている。

問 デジタルが活かされた「わたむき自動車プロジェクト」か？

答 人流分析より現状把握と実証実験の効果が検証できた



やまもと ひでき
山本 秀喜 議員



問 町が実施する特定の事業に対して、制度があります。

その一つとして、デジタル田園都市国家構想交付金制度があり、デジタルを活用した意欲ある地域による自主的な取り組みを応援されるものです。国から50%交付され、残りの50%を町の一般財源から支出されるものです。

町では、このデジタルを活用して「わたむき自動車プロジェクト」を事業化し、「チョイソコひの」の予約システムや町内周遊アプリの改修費、公共交通人流データ分析などに取り組まれています。

私は、多額の経費を使い、実証実験中の「わたむき自動車プロジェクト」において、デジタルの活用が十分に活かされている事業なのか。近隣市町では住民と行政の利便性の向上に、デジタルを活用されている事例を報告し、学ぶべきと考えるが、と問いました。

答 「わたむき自動車プロジェクト」

の成果は、今まで通勤時間帯の主要道路の渋滞は、交通量調査でしか把握が出来ませんでした。人流分析に基づき、主要道路以外の把握が出来たほか、通勤バス実証実験におけるルート設定など、現状把握と実証実験の効果が検証できています。

他市町の事例については、国の地方創生のサイトにて地方創生関連事業を検索できます。第6次日野町総合計画の将来像の実現に向けた施策を推進するにあたり、参考にしながら研究していきたいと考えています。

◆最後に要望

国からの補助金と言えども、皆さんの税金から成り立っています。もっともっと有効に使ってほしい、アプリ開発も高齢者の方にも受入れられるアプリであったほしい、この願いを届けました。

問 町の義務的経費は高止まり、令和6年度の財政方針を伺う

答 義務的経費はさらに増加の見込み、適切な予算措置を講じる

問 令和4年度の町の決算(実質収支)

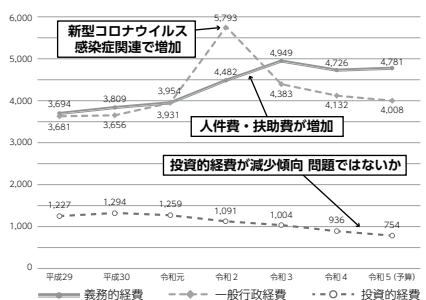
は大福な黒字で、実質単年度収支も黒字となりました。大幅な黒字でありました。大幅な黒字であれば良いものでしょうか。地方自治体が使うお金は残すものではなく、住民福祉の向上、町の将来のために使ってほしいのです。黒字が多ければ多いほど良いとする、営利目的の企業経営とはこの点がまったく異なります。町の過去の決算を調査したところ、人件費や扶助費などの義務的経費が高止まりし、道路や公共施設の整備、大規模改修などの投資的経費が減少してきていることが分かりました。(下グラフ参照)

さらに次年度には、人件費が人事院勧告等により、2億数千円上がる事が分かり、投資的経費を抑制し続けなければ

町の一般会計 決算 歳出 経費別年度推移 (令和5年度のみ予算を記載)

単位:百万円

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年(予算)
義務的経費	3,694	3,809	3,954	4,482	4,949	4,726	4,781
一般行政経費	3,681	3,656	3,931	5,793	4,383	4,132	4,008
投資的経費	1,227	1,294	1,259	1,091	1,004	936	754



町の決算資料から作成

答

令和4年度、令和3年度決算における実質収支の額は大きく、本年度は3月補正予算で一定の基準を定め、予算の減額補正を実施していきます。

令和6年度の財政方針は、現時点では、次年度も

ならない事態を招く恐れを指摘しました。そのようなかにおいて、大幅な黒字が続いていることの改善や、令和6年度に向けての財政方針、重点施策を伺う。

しかしながら、限られた財源・資源を有効に活用し、必要な事業については、適切に予算措置を講じて参ります。

重点施策は、当町の出生数の減少傾向への対策や、若者や子育て世帯の定住移住の促進の点から、町の少子化対策や子育て世代を対象とした施策の必要性を認識しています。

不登校の子どもの学び・居場所への公的支援について

答「誰もが行きたくなる魅力ある学校づくり」の推進をしている



まつだ ようこ 議員
松田 洋子

問 今、子どもたちが置かれている状況が、社会全体が抑圧的になり、過度な競争環境のもとで、子どもの成長がゆがめられ、子どもたちは幼児期から親の目を気にし、学校では学力テストを意識し、順番を気にし、仲間外れにならないように気遣う。そこでは、主体的な学びの権利と自由な遊びの権利が奪われていく。そこから外に向かって、暴力、いじめ、ときには内に向かって不登校、自殺、と向かい、自分自身の充足感が持てず豊かな内面を育てる自由な空間と時間と人間関係を奪われているのではないのでしょうか。そこで2点についてお聞きします。

①不登校の子どもさんでこの施設も利用していない人は何人いますか。
②日野町で現在取り組んでいる不登校対策について。

答 ①サポートスクールや相談センターなど、どの関係機関にもつながっていないケースは、10月現在小学校7人、中学校10人だと把握している。

②不登校の予防のために「包括的生徒指導」を取り入れ「誰もが行きたくなる魅力ある学校づくり」の推進を、早期発見のためには、町・県で作成した学校の教員向けのリーフレットをもとに、日々子どもたちの観察、早期の教育相談やケース会議を全小中学校で取り入れている。また不登校や行き渋りの子どもたちの支援は、子どもたちの状態に応じて、家庭訪問放課後登校、別室登校などを進めている。加えて関係機関の児童生徒、保護者の相談を受けたり、定期的に保護者同士で悩みを交流したりする場を設けている。

国民健康保険の都道府県化について

答 将来的には目指す方向であると考えている

問 国民健康保険の加入者の平均保険料は、全国健康保険協会の1.3倍、組合健保の1.7倍という水準です。国民皆保険制度の重要な柱を担うべき国民健康保険が他の医療保険制度に比べて加入者に大変重い負担を強いる制度になっています。国は「国民健康保険は、被保険者に低所得者が多いこと、保険料に事業主負担がないことなどのため相当額を国庫が負担する必要があります」と認めていましたが、国は1984年の法改定で国民健康保険への定率国庫負担を削減したのを皮切りに、国庫負担を抑制し続けてきました。

2018年（平成30年）4月から、これまで市町村ごとに分かれていた国民健康保険の財政を都道府県に集約すること

などを内容とする「国民健康保険の都道府県化」をスタートさせました。

①県は保険料の統一化をしようとしています。日野町の考えを聞かせてください。

②県の関係者会議で日野町はどのような意見を述べてきましたか。

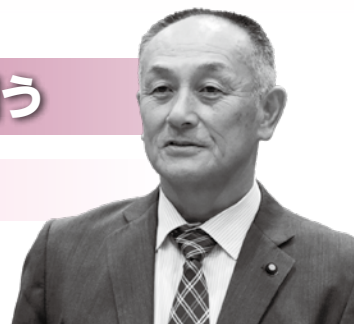
③国民健康保険の統一化がされたら現行と比較してどれだけの引き上げ額になりますか。

答 ①将来的には、目指すべき方向であると考えている。

②国民健康保険市町連携会議において「国民健康保険の都道府県単位化により国民健康保険の構造的な問題は解決できたのか」と問題提起をしている。保険料・保険財政部会では保険料激変緩和措置の継続を求めている。

③令和5年度での比較になるが、一人当たりの標準保険料は11万6,775円、町の一人当たりの保険料は、11万630円で、6,145円の差がある。





ゆのき きくお 議員
柚木 記久雄

問「チョイソコひの」の実証実験から今後を問う

答 運賃は近隣市を参考に 停留所は現行のまま

問 「行きたいときに行きたいところへ」チョイソコひのは皆様の外出を応援する新しい交通手段です」とこれは会員登録申込書に書かれている言葉です。10月から有償での実証実験が始まり、多少の変動があるものの利用者は毎月100名前後で推移しています。近隣の方より無償に戻らないかとのご意見もいただきましたが、多くの方から好意的なご意見を頂戴しています。

ところが町外移動（現在は医療機関5か所）については通常運賃の2倍となっています。とくに住宅地停留所は必佐と南比都佐地区しかないのに甲賀市域への運賃設定は距離から考えても納得いくものではありません。距離や時間のコストを計算されたものですか、根拠を伺います。

また障がい者や同伴される方への割引措置はなされていますが、町営バスにある福祉乗車証制度の高齢者割引制度は用意されないのでしょうか。鎌掛、西大路、東西桜谷各地区への停留所拡大の予定はありますか。

答

運賃については現在運行中の町営バスをもとに、近隣市町コミュニティバス均一運賃、運行開始前のアンケート結果や近江鉄道運賃を参考に設定しました。運賃割引についてはバス運賃と同様に障がいのある方等には半額の運賃を定めています。「チョイソコひの」は利便性の高い公共交通であり一定のご負担が必要と考えています。

他地区への拡大は現運行エリアからの距離、運行台数等から今後の公共交通の再編と併せて検討していきます。

【要望】今回提案のあった町外移動での帰り便なしまた2倍の運賃設定は納得できません。再考を強く要望しました。

問 日野町地域防災計画の現状と今後の推進策は

答 防災関係団体と連携し意識の啓発に取り組み

問

今年は関東大震災からちょうど100年がたち東日本大震災からも12年が経ちました。また南海トラフ地震はいつ起こってもおかしくないといわれています。さらに今年は観測史上最も暑い夏となりました。これを地球の温暖化から沸騰化と名付ける人もおられ、線状降水帯による水害や土砂災害が地震と同じくいつでも起こりうる可能性があります。

さてソフト面での防災活動、まちづくり出前講座の防災講座についてはいつも希望講座として高い人気があると聞いています。自然災害の発生は避けられないこともあり、防災は被害を抑え命を守ることにつながります。

防災講座は申込式ですが、自治会により意識の

違いもあり未受講の自治会もたくさんあるようです。

町民皆さんの防災意識向上のため多くの自治会に受講していただく働きかけが必要と考えますが、今後の進め方をどのように行いますか。

次に避難行動要支援者のことについて伺います。災害時に自ら避難することが困難で高齢者や障がい者、乳幼児、妊産婦等々の方のなかで特に支援を必要とする方を指します

が、令和3年の法改正で個別避難計画の作成が努力義務となりました。

発災時の自治会での役割分担の理解が進んでいるか、また避難訓練は行われているでしょうか。

高次、民生委員児童委員協議会等様々な団体の皆様にご受講いただき意識啓発を行ってまいりました。

自治会単位の開催は年間15件前後で過去3年では全体の33%になります。地域の役割である自助共助の観点から各区長様へのご案内、区長会の会議や広報ひの等様々な機会をとらえ防災士連絡会と連携しつつ受講の働きかけをしたいと考えます。

町では、避難時に配慮しなくてはならない事項や緊急時の諸情報が記載された「災害時要支援者名簿」を関係者に協力いただき個別に作成していただきます。個別計画に沿った避難訓練は地区ごとに実効性のある支援ができればよい啓発してまいります。

答 防災出前講座で女性会、長寿会、小学校、



問 带状疱疹ワクチン接種助成を

答 国の議論をふまえ、県内市町の動向にも注視する



なかにし けいこ 議員
中西 佳子

問 带状疱疹を発症する方が増えてきているように感じる。带状疱疹は、疫学調査によると50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人が1人が発症するといわれている。皮膚症状が治った後も带状疱疹後神経痛と呼ばれる痛みが続く場合もあり、治療が長引くケースがある。このような带状疱疹の発症に対してワクチン接種で予防することが有効とされていますが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も多い。町でもワクチン接種助成の実施を願う何う。

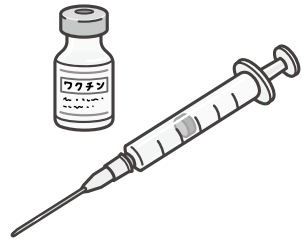
- ① 町の带状疱疹発症者の状況は。
- ② 町で带状疱疹ワクチンを接種できる医療機関の状況は。
- ③ 県内でワクチン接種助成を実施されている、または実施予定の市町の状態は。
- ④ 町のワクチン接種助成への考えは。

答 ①町の医療機関に受診者の動向を伺ったところ、带状疱疹での受診者は増えているとお答えの医療機関が半数あった。

②町内の7医療機関で带状疱疹ワクチン接種をされており、把握できる範囲で令和5年4月から11月の間で42人が接種されている。

③令和5年度に近江八幡市と守山市の2市で助成事業を創設されたことに始まり、令和6年度からは新たに4市2町が実施を検討されている。

④現在、国の厚生科学審議会において議論されることになっている。今後の国の議論をふまえ、県内の市町の動向にも注視していきたい。



問 「COOOLプラン」を受けての不登校支援の推進を

答 誰一人取り残されない学びの保障に向けて様々な対応する

問 文部科学省は、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現していくとして「COOOLプラン」を発表した。仮に不登校になったとしても小・中・高を通じて、学びたいと思

った時に多様な学びにつながるができるよう、個々のニーズに応じた受け皿を整備する。また心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する等明記されている。そこで町の取り組みを何点か伺う。

①不登校の子どもを支援していくうえで、その保護者を支援していくことは重要である。保護者の会の設置状況は。

②保護者の会にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをコーディネート役として派遣し支援しているか。

③教室に行きづらくなつた児童生徒が、学校内で落ち着いて学習できる環境づくりとして「スペシャルサポートルーム」等設置状況と今後の取り組みは。

④不登校の児童生徒が自宅でも学習を進めることができるよう、オンライン指導も必要だと考えるが、現状と今後の取り組みは。

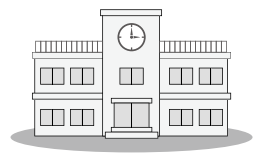
⑤COOOLプランを受けて取り組んでおられることは。

元教員が、コーディネーター役に運営支援している。

③日野中学校、日野小学校、必佐小学校に、その子にに応じた支援ができる部屋を設けて担当教員が子どもの状態に合わせて活動している。今後も県と連携し小規模校への人員配置をお願いしたい。

④オンライン支援システムは、子どもの状態に合わせて支援策の一つとして活用していきたい。

⑤「包括的生徒指導」を導入し、誰もが行きたくなくなる魅力ある学校づくりを推進している。今後も誰一人取り残されない学びの保障に向けて様々なケースに対応していく。



次ページは▼

一般質問

問 移動権の保障と環境保護が公共交通の役割

答 多様な交通手段の利用への転換啓発を進めたい



かとう かずゆき
加藤 和幸 議員



問 わたむき自動車プロジェクト(その6)

(1)「チョイソコひの」有償実験後の現状と今後の計画について

①「予約が取りにくくなった」という声を聞く。増車も必要。時間を区切ったの増も可能か。

②青葉台、奥之池、奥師など町営バス路線でない集落への導入はどうか。

(2)①プロジェクトの総括に達成度の具体化が必要ではないか。

②公共交通の役割は移動権の保障と環境保護に集約されるのではないか。前者は障がい者、高齢者、妊婦などに利用しやすく、遠距離通学、通勤通学自転車の安全対策、といった観点。後者は渋滞解消

消、CO₂削減から見たマイカー対策。

(3)ライドシェアは導入すべきでないが、おたすけカゴヤなどの法的な違いを伺う。

答

(1)①希望予約時間の20分以内に9割が配車。

②基本はエリア単位だが、再編とあわせて検討。

(2)①達成度の指標は定めている。

②「自家用車に頼る状態」から「公共交通など多様な交通手段の利用」への転換啓発を進めたい。



チョイソコひのの目的地停留所(図書館)

問 日野町における会計年度任用職員の実態について

答 正規職員229名に対し、会計年度任用職員303名

問 制度導入以来4年になる。当初と比べ手当や社会保険など改善点はあるが、給与面ではまだまだ不十分である。

①現在、当町に正規職員と会計年度任用職員はそれぞれ何人おられるか。

②フルタイム職員は正規職員とくらべ、給与面での差はどれくらいか。

③正規職員を採用しない理由を伺う。

④パートタイムの時給は概ねいくらか。

⑤「細切れ」採用の増加は正規職員の低賃金・長時間労働につながる。ひいては公務労働の民間委託に道を開くものではないか。

①正規職員229名、フルタイム会計年度任用職員32名、パートタイム271名である。

答

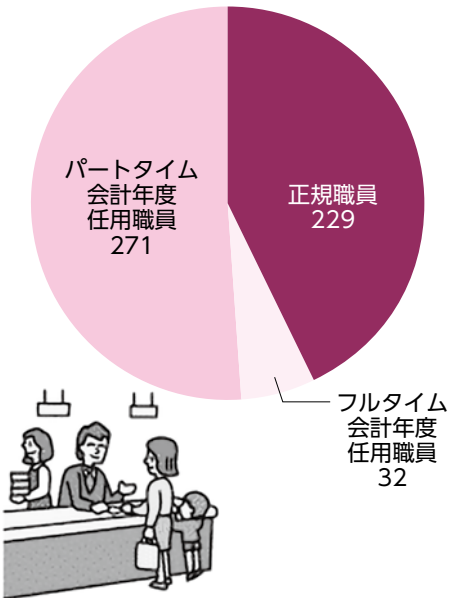
②保育士・幼稚園教諭の場合、初年度は月給22万4,500円、短大卒正規職員17万9,100円。年

収で会計年度任用職員約370万円、正規職員が約295万円。逆転するのは7年目以降。

③一時的な需要や人員調整が必要な時期。組織の状況に合わせた柔軟な働き方が可能となる。

④時給1,010円から1,362円。

日野町職員構成 (人数)



◆質問を終えて

町の会計年度任用職員は今や正規職員を上回っています。同一価値労働・同一賃金、時給1,500円以上というのは世界基準です。当局は「将来の人口減を考えたら正規を取れない」と言いますが、雇用の安定、住民サービスの向上といった観点からみて皆さんと共に考えたいことです。

問 こども基本法でどう変わる? 町のこども施策

答 子ども施策を町政の中心に置き、支援の充実を図る



後藤 勇樹 議員

問 「こども家庭庁」新設と「こども基本法」の施行で子ども施策はどう変わるのか。町の計画なども具体的に教えてください。

答 (町長・副町長・子ども支援課・学校教育課・生涯学習課・厚生主監)

日野町では令和4年度の不登校児童数は小学校27人、中学校31人と、いずれも県や国の平均を上回った。虐待相談も令和4年度189件、3年度291件、2年度254件と多く、特にネグレクト相談が増加している。町では子育て相談窓口のワンストップ化実施や子どもの声を直接聞ける環境を整備し、関連部署が一丸となって支援できる体制づくりを目指す。また具体的な支援策として、児童手当支給の高校生までの延長(月1万円)や第3子以降は月3万円への増額、ひとり親家庭への手当を月額1万4200円へ増額(いずれもR6年10月より)、夫婦での育児休業手当の10割支給(R7年度より)などを計画している。令和5年2月からは出産子育て応援交付金として妊娠届時5万円、出生届時5万円の支給も実施している。経済支援以外にも、子育て中のお母さんなどが息抜きできるような子ども預かりセンターも計画しており、学校に行きにくい児童・生徒が通えるサポートスクール「ステップ」、女性活躍支援施設「ぼけっと」、親子が自由に遊べる場所「わらべ地域子育てセンター」などをさらに充実し、子ども子育て施策を町の一丁目一番地の最重点施策と位置づけ、しっかりと支援していきたい。

子ども施策を町政の中心に!



問 文化財保護への取組とエコミュージアム構想の今後は?

答 文化財保存活用地域計画を機に、取り組みを強化したい

問 日野町は日野祭や寺社仏閣など文化財の宝庫と言われますが、保護・修繕や後継問題など、課題対応の現状を教えてください。

答 また文科省では地域を丸ごと博物館ととらえる「エコミュージアム構想」を打ち立てています。日野町の進捗と今後の計画はどうなっていますか。文化財展示施設を併設した道の駅を設置すれば、駐車場、トイレや外灯をはじめ、施設の多くを国の補助で賄えると思えますが、検討できませんか。

答 (町長・副町長・生涯学習課)

伝統ある日野祭は滋賀県を代表する祭りであり、観光資源、関係人口増大にも期待が持てる。修繕が急がれる正明寺本堂

の檜皮葺大屋根は、県より数年後の修繕予定と聞いているが、議員の協力などで早期対応を要望しているところである。その他にも補修が急がれる文化財があるが、未指定のものは指定を受けた後、補助申請をすることになる。文化財保存活用地域計画が認定されると、これらの文化財指定が進めやすくなる。エコミュージアムは、近江日野商人館、近江日野商人ふるさと館、日野まちかど感応館の3施設を拠点とし、各地区公民館をサテライト拠点と考

え構想を進めている。以前より曳山の展示施設設置を要望をいただいているが、ご提案いただいた道の駅での併設案なども含め研究していきたい。町内には日野町文化協会、日野曳山保存会、日野祭保存会、日野雅楽会をはじめ、多くの文化関連団体が活動されている。後継者育成も含め、これから団体と連携しながら文化財保全を進めていきたい。日野町文化協会では、小学生を対象としたカルチャー教室を開催しているが、今後は中学生までの対象拡大も検討されており、議員より要望を受けた補助金額についても、町民憲章にも文化伝統の保護が謳われていることから、文化協会等と協議を進めながら考えていきたい。

前より曳山の展示施設設置を要望をいただいているが、ご提案いただいた道の駅での併設案なども含め研究していきたい。



正明寺本堂の檜皮葺大屋根が美しい

問 農業問題地域計画の推進について

答 全農業者に地域計画策定に参画いただきたい



にしざわ まさはる
西澤 正治 議員

問

令和5年11月末に農業組合長さんによる、今後5年先、10年先の田畑の耕作状況について聞き取り調査がありました。

私達の地区は以前、「人・農地プラン」を計画して営農法人も設立、認定農業者も数人営農されております。

今行われている計画は、農地の集積、集約を目的ですが、中山間地の農地は草刈面積も多く、水利、用排水の管理、獣害対策等、維持管理が大変です。大規模農家への農地集積も良いと思いますが、小規模な耕作者も山間地の水田を守っています。

小さな農家は、農業機械も共同で購入、育苗も共同で行い耕作放棄地をなくするよう努力しています。

農機購入時の助成をしてももらえれば幸いと思いますが、町の考えを伺います。

答

地域計画では、一筆ごとの農地を今後、誰が担うのかを示していただくこととなります。

従来の「人・農地プラン」は、大規模農業者への農地の集積・集約化により、効率的かつ安定的な農業経営を促進するというものでしたが、地域計画では、大規模農業者や多様な担い手が協力し、全ての農地で耕作や保全管理をすることを目指しています。

地域の農地を守り農業を続けていただくためにも、大規模農家だけでなく、兼業農家や家族で農業を営まれる方等、農業に関わる全ての方で地域計画が策定いただけるよう取り組んでいるところです。

小規模農家への農業機械購入等の支援については、県内市町の実施状況等を研究するとともに、国、県への要望を考えてまいります。

ことばのまめ知識

～議会だよりの中に出てくる難しい言葉や専門用語の解説～

ICT … 情報通信技術のことで、インターネットやパソコンなどの情報通信機器を用いて行うコミュニケーションを実現する技術のことで。例えば、人と人がコミュニケーションを取るSNSやメール、チャット、Web会議システムなどがあります。また、ビジネスだけでなく教育や医療、防災などさまざまな分野での活用が進んでおり、総務省もその活発な利活用を推進しています。

ライドシェア … 一般の人が自家用車を用いて有償(有料)で他人を輸送することを意味し、これは日本では法律で禁止されています。すなわち「白タク行為(白ナンバーのタクシー)」にあたるからです。しかしながら、別の面から見ると「相乗り」という意味もあり環境負荷の低減に役立つ一方、また過疎地における地域公共交通の課題解決においても有効な手段の一つとして注目されており、近年この導入に向け議論が盛んに行われるようになってきました。

なお、町内の一部地域で行われている移動支援サービス「おたすけカゴヤ」は、道路運送法の許可・登録を要しない地域のボランティア等を活用した互助による輸送サービスであって、ライドシェアとは意味が異なり、別の位置付けにあります。

带状疱疹 … 水痘・带状疱疹ウイルスによる感染症で、神経痛と赤い発疹が特徴の病気。带状疱疹の症状は数日～10日間ほど帯状に赤い発疹が出現し、中央部に水疱が出現することが多い。治療は抗ウイルス薬で皮膚症状を緩和し、合併症や後遺症を軽減します。



町長提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
補正予算（6議案）														
一般会計（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
国民健康保険特別会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
介護保険特別会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
後期高齢者医療特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
一般会計（第5号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
一般会計（第6号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
決算の認定（9件）														
令和4年度日野町一般会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和4年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和4年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和4年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和4年度日野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和4年度日野町西山財産区会計歳入歳出決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和4年度日野町水道事業会計決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
令和4年度日野町下水道事業会計利益の処分および決算	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／

議員提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
請願の審査（1件）														
国に対し、「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
意見書の決議（2件）														
再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書決議 ◎提出者…山本秀喜総務常任委員長	決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
パレスチナ自治区ガザ地区の早期平和実現を求める意見書決議 ◎提出者…後藤勇樹議会運営委員長	決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／

意見書決議の内容は、日野町ホームページ（議会）をご覧くださいか議会事務局までお問合せ下さい。

提出された議案と結果

○賛成 ×反対

第7回臨時会（11月13日）

町長提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
工事請負契約の締結（1議案）														
団体営農地防災事業別所転倒堰改修工事 ◎契約金額 5,720万円 ◎契約相手方 日本自動機工株式会社 代表取締役 古屋 久昭	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

第8回定例会（12月1日～25日）

町長提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
一部改正（6議案）														
特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例 特別職の期末手当の額の算定について、令和5年12月支給の率を0.10月引き上げ、1.75月（年間3.40月）にするもの 令和6年4月1日からは、6月支給の率1.65月および12月支給の率1.75月をそれぞれ1.70月に改定するもの	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	/
日野町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例 県の福祉医療費助成制度の拡充に伴い、高校生等の医療費にかかる自己負担金の無償化等を実施するために条例の一部を改正するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町手数料徴収条例の一部を改正する条例 本籍地の市町村長以外の指定市町村長による戸籍証明書等の交付、戸籍電子証明書 提供用識別符号の発行等の制度が開始されることに伴い、新たに手数料を徴収する事務を定めるもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 出産する被保険者に係る産前産後期間における国民健康保険税の所得割額および均等割額を減免する他	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

議員のうごき

(令和5年10月1日～12月31日)

公務名		場所	期間	出席議員
トップマネジメントセミナー	研修	全国市町村国際文化研修所	10月2日 ～ 3日	後藤、中西
日野小学校運動会	来賓	日野小学校	10月5日	谷口、中西、西澤
町民運動会(日野地区)	来賓	日野小学校	10月8日	中西
町民運動会(東桜谷地区)	来賓	桜谷小学校	10月8日	後藤
町民運動会(西大路地区)	来賓	西大路小学校	10月8日	野矢、山本
町民運動会(南比都佐地区)	来賓	南比都佐小学校	10月8日	柚木
市町村議会議員研修 「人口減少社会における議会の役割」	研修	全国市町村国際文化研修所	10月10日 ～ 12日	福永、山本
第64回町議会議員研修会	研修	甲良町公民館	10月11日	議長、副議長、谷口、松田、 柚木、川東、高橋、加藤、 後藤、西澤
市町村議会議員研修 「地方財政制度の基本と自治体財政」	研修	全国市町村国際文化研修所	10月18日 ～ 20日	松田、後藤
日野町地域安全活動推進大会	来賓・ その他	南比都佐公民館	10月20日	副議長(来賓)、福永、松田、 柚木、野矢、高橋、加藤
南比都佐小学校幼稚園運動会	来賓	南比都佐小学校	10月21日	柚木
必佐小学校6年生議場見学	その他	日野町役場	10月27日	議長、副議長、 総務常任委員、松田
氏郷まつり“楽市楽座”2023	地域交流	日野町役場	10月28日 ～ 29日	議員全員
日野文化懇談会・日野まちなみ保全 会・日野曳山保存会の皆さんと総務 常任委員会との意見交換会	懇談会	防災センター研修室	10月30日	総務常任委員
日野町民生委員児童委員協議会の皆さん と厚生常任委員会との意見交換会	懇談会	防災センター研修室	11月1日	厚生常任委員
第62回氏郷まつり(松阪市)	来賓	三重県松阪市	11月3日	副議長
心ふれあう福祉のつどい2023	その他	わたむきホール虹	11月5日	議長、福永、柚木、川東、野矢、 高橋、西澤
市町村議会議員研修 「1年目議員のために」	研修	全国市町村国際文化研修所	11月8日 ～ 10日	福永
第24回蒲生郡町村議会議長会議員 研修会	研修	竜王町防災センター	11月13日	議員全員
議会先進地事例視察研修	研修	福井県おおい町	11月14日	議長、議会改革特別委員
超高齢社会体験ゲーム 「コミュニティコーピング」体験会	研修	日野町役場	11月17日	議員全員
市町村議会議員研修第2回 「防災と議員の役割」	研修	全国市町村国際文化研修所	11月20日 ～ 21日	柚木
第47回滋賀県町村議会議長会広報 研修会	研修	わたむきホール虹	11月22日	議長、議会広報常任委員
日野小学校創立150周年記念式典	式典	日野小学校	11月24日	谷口、中西、西澤
日野町青少年意見発表大会	その他	わたむきホール虹	11月25日	福永、柚木、川東、野矢、山本、 加藤、後藤、中西、西澤
日野町スポーツ協会表彰 表彰式	来賓	わたむきホール虹	11月27日	議長、福永、柚木、山本、高橋、 加藤、中西
蒲生郡町村議会議長会要望活動	要望	東京都	11月28日 ～ 30日	議長、副議長
全国町村議会議長会 第67回町村議会議長全国大会	構成員	NHKホール	11月29日	議長、副議長
聖徳太子1400年悠久の近江魅力再 発見委員会記念事業	来賓	東近江市立八日市文化芸術 会館	12月3日	議長、柚木、野矢、山本、高橋、 加藤、後藤、中西、西澤
日野町消防団年末特別警戒巡視	来賓	町内	12月29日 ～ 30日	議長、副議長、総務常任委員長

その他 通常公務として日野町議会定例会・臨時会
一部事務組合 東近江行政組合議会／八日市布引ライフ組合議会／中部清掃組合議会
議長公務 約20件 などがあります。



ことばのまめ知識

デジタル庁… 日本の行政機関の一つであり、デジタル社会の形成に関する内閣の事務を内閣官房と共に助け、その行政事務の迅速かつ重点的な遂行を図ることを目的に2021年(令和3年)9月1日に発足した。また、現在のデジタル大臣は河野太郎氏。

(注:なお、「デジタル」とは、機械で「情報」を扱う際の表現方法の一つであり、アナログの反対の言葉です。時計で例えるなら、アナログは長針と短針で時刻を表すような形式であり、デジタルは長針と短針を使わずに文字盤に数字で時刻を表記します)

蒲生郡町村議会議長会

国へ要望活動を実施(11月28日~30日)

蒲生郡町村議会議長会では、地方の活性化に向け、日野竜王両町における課題や提案をまとめ、河野太郎デジタル大臣、小鍮隆史国土交通大臣政務官らに要望書を提出し、面談を行いました。



河野太郎デジタル大臣(写真中央)に要望書を提出する
杉浦議長・中西副議長

蒲生郡2町の議会で構成する蒲生郡町村議会議長会では、毎年、国へ出向き、要望を行ってまいります。今年度は11月28日から30日にかけて、日野町、竜王町の正副議長で行動してまいりました。

今回は、厚生労働省、国土交通省、農林水産省、デジタル庁を訪れ、大臣はじめ要職の方々と面談し、喫緊する課題等を伝えてまいりました。

デジタル庁では、河野太郎大臣と面談し、ライドシェアが地方の実情に沿ったものとなるよう要望し、これに対し河野大臣からは「国内で自由に移動できないことがあってはならない」と検討に意欲を示されました。また、国土交通省では小鍮隆史国土交通大臣政務官はじめ要職の方々と面談し、道路整備に係る交付金の配分や名神名阪連絡道路の早期実現への支援などを要望しました。対応いただいた方々からは「地方からの声で制度の充実への後押しをお願いしたい。必要な事業はしっかり取り組んでいく。」と我々の要望に理解を示され、前向きな返答をいただきました。

このような要望活動の積み重ねが実現につながるものであります。今後も地域の発展のために、引き続き、努力してまいります。

議長 コラム



議長
杉浦 和人

3月定例会(本会議)のお知らせ【予定】

3月1日(開会・提案説明)・7日(質疑)・8日(一般質問)
11日(一般質問) ・22日(採決・閉会)

「議会だより」へのご意見を お寄せください

皆さまからいただいたご意見を反映し、分かりやすく読まれる議会だよりにしていきます。

二次元コードを読み取り入力してください。また、メールや手紙、ハガキ等でもご意見を受け付けています。宛先は、裏表紙の下をご覧ください。



編集後記

「住民のみなさまと議会をつなぐ広報誌」をコンセプトに作り上げる日野町議会だより。今号も議会広報常任委員会を中心にアイデアを出し合いながら住民の皆様にご覧いただきやすい紙面づくりを心掛けました。

そのような中、前号をお読みいただいた住民の方から「表紙が小学校運動会の写真でレイアウトも良かったと思います。議会だよりのイメージと違ったので思わず手に取り読ませていただきました」という内容のお葉書を頂きました。加えて、Web上での議会だよりアンケートに回答いただいた方もおられ、少しずつではありますが住民の皆様にとって近い距離間の広報誌になってきていると感じています。

これからも住民の皆様へ寄り添い、工夫を凝らした紙面づくりを心掛けてまいりますのでよろしくお願いたします。

福永晃仁

議員公務の一部を 紹介するにゃん



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター
がもにゃん



各団体との意見交換会を行いました



懇談会

日野町民生委員児童委員協議会
の皆さんと厚生常任委員会が、日野
文化懇談会・日野まちなみ保全会・日野曳
山保存会の皆さんと総務常任委員会が、そ
れぞれ意見交換会を行いました。

意見交換を通じて、それぞれの団体が今
後も活動しやすいように委員会で研究し行
政に働きかけていきます。

研修

議会広報研修会に 参加しました

「住民のみなさまと議会をつなぐ広報誌」
の内容の充実をより一層図るため、議会広
報の研修を受けました。

発行済みの議会だよりの改善点を教えて
頂いた他、他自治体の例を参考に色々なレ
イアウトや表現方法を学びました。委員会
で検討し早速今号から改善しています。



滋賀県消防協会日野支部消防出初式

式典



1月7日に日野公民館で執り行われた
出初式には、正副議長と総務常任委員長
が出席しました。今年は、元日に発生し
た能登半島地震に鑑み、パレードや祝賀
放水は取りやめとなり、いつにも増して
災害への備えの大切さが意識された出初
式となりました。

日野町議会広報

日野町議会 議会だより

◆発行/日野町議会 ◆編集/議会広報常任委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044

メールgikai@town.shiga-hino.lg.jp



「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・メールまたは議会事務局までご持参願います。